

平成30年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 応募事業一覧

申込者	①NPO法人 ミライ10	②個人	③能代バスケットロードフェスティバル実行委員会
事業名	ドクターズバスケットボールフェスティバル in のしろ 2018	Nstyle 3x3	第7回能代バスケットロードフェスティバル
事業内容	7月7日(土)、8日(日)にアリナスで開催する予定。 バスケ好きの医者チームを能代に呼び込み、バスケを楽しんでもらう。	3人制バスケットボール3x3(スリー・パ イズリー)の1Dayイベント。 開催日は8月4日(土)を予定し、能代市総合体育館で開催する。 参加募集は一般男女。	バスケットボールに関わるすべての人の交流を目指し、回遊型イベントを能代市内「バスケットロード(仮称)」にて行う。実施時期については、秋田ノーザンハピネットの能代開催に合わせて行う。また、メイン事業として書道・川柳大会、ムービーコンテスト、バスケ神社の強化、スタンプラリーを行う。
無償スタッフ活動時間	100時間	102時間	100時間
補助申込金額	100千円	100千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取り組みや更なる告知方法も検討していただきたい ・参加費設定(500円)は今後見直してはどうか?(少ないのではないか) ・継続して徐々に定着してきた点は評価できる。 ・参加費を上げるなど事業性を高めることで有償スタッフ(ボランティアへの交通費、謝礼など)へつなげていく必要があるそう。 ・より発展していくことを期待します。 ・参加者が年々増加している上、広告に関してもより効果的に宣伝できる方法を考えられているところが評価できると思います。今後より良い宣伝方法を見つけて更に参加者を増やしてほしい。 ・今年で5回目とのことですが、もっと参加者が増えても良いのかなと思います。参加者増を希望します。 ・PRにもっと力を入れていただきたい。ミニバスや高校生プレーヤーが他地域の人とふれあう機会であるし、スポーツ医学の指導を受けられる貴重な機会であると思うので、これを是非多くの子供たちに提供していただきたいと思います。 ・年々、参加人数が増えているので宣伝にももう少し力を入れて参加費を少し上げていくと収入が増え、何かあたらしいことにも挑戦ができるのではないかと思います。 ・今年で5回目で全国規模で広がっている。市民や工業高校生との交流も期待でき継続して行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「不夜城」観光客へもイベントをPRし、多くの方々に見ていただければと思います。(同日開催のメリットを最大限に活かす)参加ゲストによっても集客を見込めるため、3X3のアピールになる。 ・バスケの街の最も重要な「する」という点にアプローチする大事なイベントだと考える。継続する中で改題を捉えて新たにチャレンジする内容になっており、是非、協力者を増やしながら発展して行ってほしい。 ・自己資金(持ち出し)が大きくなってしまっているため、補助を検討するべきだと考える。 ・自己資金が昨年より増加しているとのことなので、参加費を上げる、謝礼を絞るなどの工夫が必要だと思う。能代市の特産品を商品にしたいと思いは良いが、更に支出負担が増えてしまうのではないだろうか。 ・昨年の反省を踏まえつつ活動しているのがよくわかるので応援したい。 ・もっと企画の部分で頑張ってもらいたい。参加人数が増えて対応できるような大会にしてもらいたい。 ・参加賞には大いに地元の物産を使ってもらいたい。 ・おもしろい取り組みであると感じました。大会運営上で困難もあると思いますが、スタッフの拡充などに取り組んで継続・拡大してほしいと思います。場合によっては、「バスケの街づくりチャレンジ事業」ではなく、もっと金額の大きな補助制度を探し、チャレンジすることも検討されてはどうでしょうか。 ・新しいことに挑戦することや地域へ貢献することを考えているところは評価できるが、自己資金をなるべく出さないように工夫していったらいいと思う。若い人たちが多くいるのであればSNS発信を中心にポスター代を削減するなど。 ・参加人数が減っているといっているが、3X3というスタイルの普及浸透に貢献していると感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な開催内容、金額など詳細が明らかになっておらず、評価不能である。